

先端部材 モビリティ

# 金属リサイクル事業拡大

## サンクト 脱脂工程の受託開始

サンクト(東京都江東区)は、金属スクラップのリサイクル事業を拡大する。新たに外部企業と連携し、機械油などに汚染された端材などを洗浄する脱脂工程の受託ビジネスモデルを構築。今年6月から金属加工メーカーなどを対象に本格事業化に乗り出した。コバルトやニッケルなどのレアメタルを中心に、使用する洗浄剤もリサイクル品を有効活用することで事業採算性を確保している。同社では、廃液処理など脱脂工程にかかわるユーザー負担軽減に貢献することで金属スクラップの利用拡大を推進していく。

サンクトは、レアメタル事業を展開中。同事業でルおよびアミノ酸の輸出は正確な計量データを委託加工契約先へ提供し、ユーザーによる適正評価を可能とする独自のビジネスモデルにより他社との差別化を図っており、スラッジの乾燥・焼成を

機械油などで汚染されたスクラップを提携先の工場で再利用可能なレベルまで洗浄、原材料としてリサイクルする。洗浄に使用

する薬剤は通常1回で廃棄されるが、構築したビジネスモデルではこれを有効活用することで事業採算性を確保しておく。

り、処理する金属にもよるが月100ト程度の脱脂加工が可能。

電池向けコバルト需要が2030年には30倍以上に拡大すると予想されるなど、世界的に加速するEV(電気自動車)化を背景にレアメタル需要は中長期的に増加基調で推移するとみられている。同社ではコバルトやニッケル、タンクステンといったレアメタルのリサイクルで独自のビジネスモデルを構築することで需要拡大に対応していく。



「TRCダンパー」の動画パンフレット

を始めている。TRCダンパーは、特殊粘弾性ゴムにより地震の運動エネルギーを熱エネルギーに変換する。住宅の筋交い部分に設置することで、地震による建物の変位を最大50%減少することが可能。価格は10万円/本(設計価格)で、約132平方メートルの住宅なら4本の設置で効果を発揮する。

## 住友理工 木造住宅用制震システム 増税前の新築採用狙う

住友理工は、木造住宅用制震システム「TRCダンパー」の拡販を推進する。2019年10月予定の消費税引き上げを前

の工務店および施工主への訴求を開始した。同社製品は繰り返しの地震に強く、熊本地震以降引き合いが急増。17年度に設置の家屋数が2万戸を超えて

おり、今期は前年度比1.5倍の1万2000戸(床面積40坪住宅換算)の販売を目指す。前回の消費税引き上げ時は、新築住宅着工戸数が前年度比約10%増加した。来年の増税前に家を建てるためには19年9月末までの引き渡し、または19年3月末までに建築会社と契約する必要がある。各工務店では今夏から施工主との打ち合わせ

を始めている。TRCダンパーは、特殊粘弾性ゴムにより地震の運動エネルギーを熱エネルギーに変換する。住宅の筋交い部分に設置することで、地震による建物の変位を最大50%減少することが可能。価格は10万円/本(設計価格)で、約132平方メートルの住宅なら4本の設置で効果を発揮する。

## 販売好調、揃って増益

タイヤ4社の1〜6月期 け込み需要の反動減がみられるもの、おおむね

純利益	減となったが、アライア
1,346	ンス・タイヤ・グループ
2.1	(ATG)の農業機械用
3,050	
5.8	
142	
14.4	
430	
▲8.5	
178	
19.2	
400	
0.1	
70	
▲36.2	
220	
42.2	

・産業車両用タイヤをはじめとするオフハイウェイタイヤが増加し、同14・6%の増収を確保。東洋ゴムは北米を中心にトラック・バス用大口径タ